

平成30年3月

名古屋市

なごや集約連携型

まちづくり プラン

魅力ある「名古屋ライフスタイル」を育む大都市の形成のために



「なごや集約連携型まちづくりプラン」とは

人口構造の変化や激甚化する自然災害、都市間競争の激化など社会状況は大きく変わろうとしています。これらの課題に対応したまちづくりは、待ったなしの状況です。

本市では、名古屋市都市計画マスタープランにおいて「集約連携型都市構造」をめざすべき都市構造に位置づけ、取り組みをすすめてきました。また、国においてもコンパクトシティ・プラス・ネットワークの考え方に基づいて都市機能と居住の立地誘導をはかる「立地適正化計画制度」が創設されました。

このような状況をふまえ、本市における集約連携型都市構造の実現に向けた取り組みを加速化するために、「なごや集約連携型まちづくりプラン」を策定します。

このプランでは、都市再生特別措置法に基づく立地適正化計画として、

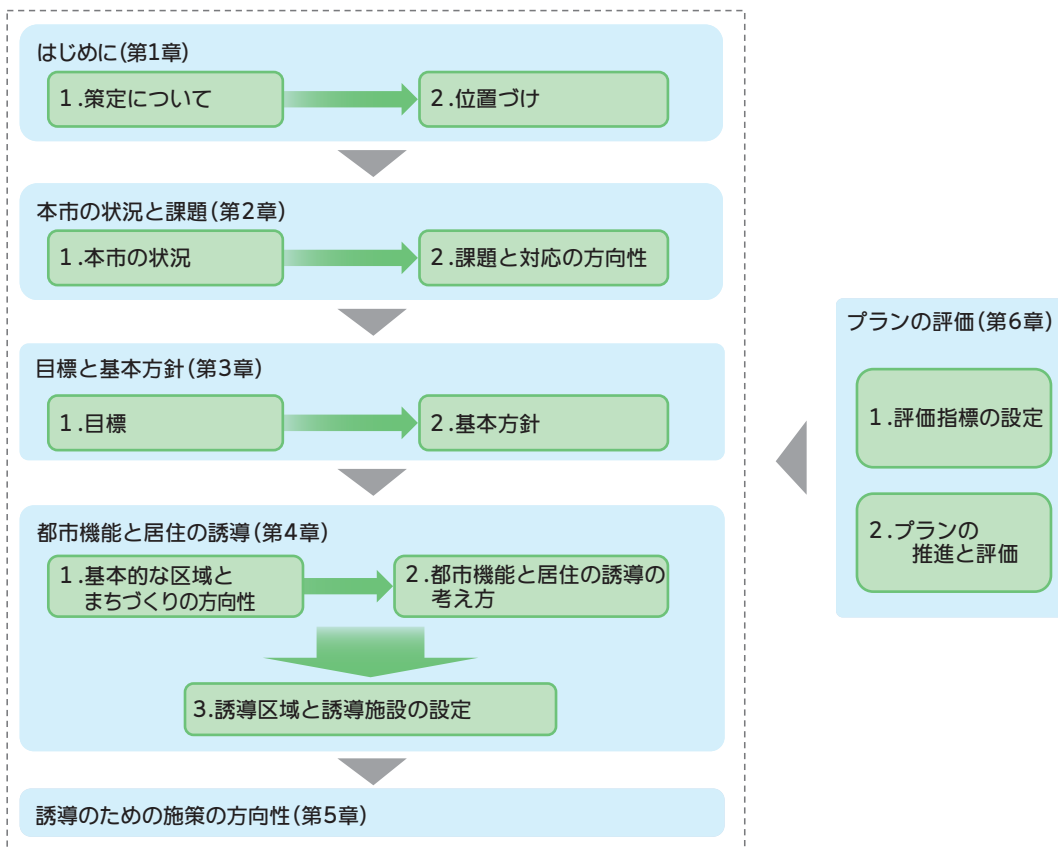
- 都市機能や居住を誘導する範囲（都市機能誘導区域、居住誘導区域）
- 誘導する施設

などを定め、

- ・鉄道駅周辺（拠点や駅そば）に必要な拠点施設の立地誘導
- ・地域の状況に応じた居住の誘導

をすすめるものです。

■ プランの構成



もくじ

1	はじめに	1
章		
	1. 策定について	2
	2. 位置づけ	5
2	本市の状況と課題	7
章		
	1. 本市の状況	8
	2. 課題と対応の方向性	22
3	目標と基本方針	25
章		
	1. 目標	26
	2. 基本方針	26
4	都市機能と居住の誘導	31
章		
	1. 基本的な区域とまちづくりの方向性	32
	2. 都市機能と居住の誘導の考え方	36
	3. 誘導区域と誘導施設の設定	46
5	誘導のための施策の方向性	51
章		
6	プランの評価	59
章		
	1. 評価指標の設定	60
	2. プランの推進と評価	61
資料		63